

令和2年3月3日

報道関係者 各位

全国米穀販売事業共済協同組合

精米商品の配送におけるリードタイムの延長等に関するお願いについて

精米商品の製造卸売業者の全国組織である全国米穀販売事業共済協同組合(全米販)は、昨年来、一部会員企業をまじえ、農林水産省、JA系統の卸売業者団体である全国農業協同組合連合会(JA全農)とともに、精米商品の物流合理化に向けた話し合いを続けてまいりました。

この話し合いを踏まえ、私どもは、昨今の物流等を取り巻く厳しい環境のもとで問題の改善を図るためには、お取引先様のご理解とご協力が必要不可欠と考え、今般、お取引先様である量販店、生協、外食産業事業者及び中食事業者等の業界団体(別記)に対し、「精米商品の配送におけるリードタイムの延長等に関するお願いについて」(別紙)を手交し、精米商品の配送等に関する諸問題について要請と意見交換を行いましたので、お知らせいたします。

【お問い合わせ先】

全国米穀販売事業共済協同組合
業務部

担当者:加瀬、村上

TEL:03-4334-2120

別 紙

お取引先の皆様へ

全国米穀販売事業共済協同組合

全国農業協同組合連合会

精米商品の配送におけるリードタイムの延長等に関するお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃、格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今の農林水産物・食品の小売・流通業界を取りまく環境は、慢性的な人手不足、働き方改革、食品ロス削減に向けた社会的な要請など、様々な課題に直面しております。物流環境においては、トラックドライバー不足などにより厳しい状況にあり、政府もこの課題に対し、農林水産省・国土交通省・経済産業省が連携し、ホワイト物流運動の推進をはじめ、加工食品の賞味期限の延長・年月表示化、納品期限の緩和など様々な取組みを進めていることはご存じのとおりです。

とりわけ重量物である精米商品はトラックドライバーに敬遠される傾向にあり、精米商品の物流手配については大きな課題を抱えております。現在同様に製造・物流を維持することは困難となる状況が近づいております。

我われ米穀卸売業者といたしましては、農林水産省とともに物流合理化に向けた話し合いを始めており、自らの業務内容の見直しや、改善策の実行をすすめていきますが、お取引先様である皆様方のご理解とご協力なしには、この問題の改善は困難であると考えております。

具体的には下記の事項につき、今後、両組織の会員をはじめ米穀卸売業者が、貴組織傘下のお取引様の皆様に個別にご相談させていただきたいと考えておりますので、特段のご配慮とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 受注から荷渡しまでのリードタイムを、現在より 24 時間以上余裕があるもの（最短でも受注から翌々日の荷渡し）にご変更いただきたい。
2. 新たに可能となる年月旬表示の導入について協議に応じていただくなど、納品物品の納品条件を余裕があるものにご変更いただきたい。
3. その他、納入時間や附帯業務等の納品条件の明確化、年末年始・自然災害時等の配送条件の緩和等について、協議に応じていただきたい。

以上

別記

「精米商品の配送におけるリードタイムの延長等に関するお願いについて」

発出先一覧

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

公益社団法人 日本炊飯協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

日本生活協同組合連合会

日本チェーンストア協会

日本チェーンドラッグストア協会

一般社団法人 日本フードサービス協会

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会

公益社団法人 日本べんとう振興協会